

- 問1 双眼実体顕微鏡を用いて対象物を観察する際、ピントを合わせるための基本的な操作として最も適切な手順はどれか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 鏡筒を固定したまま、接眼レンズのみを前後に動かしてピントを合わせる。
 2. 接眼レンズをのぞきながら調節ねじを回し、鏡筒を上下させて焦点の位置を合わせる。
 3. 接眼レンズをのぞかず調節ねじを回して鏡筒を一番下まで下げ、その後視度調節リングだけで合わせる。
 4. 最初に対物レンズを高倍率のものに切り替えてから、調節ねじを回して鏡筒を上下させる。
- 問2 動物を「陸上で生活するもの」と「水中で生活するもの」のどちらか一方に分類しようとしたとき、カエルを分類することが難しい理由として、成長の段階と生活場所の關係に着目した説明として適切なものはどれか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 幼生は水中で生活し、成体は陸上でも活動できるようになるから
 2. 一生を水中で過ごす、呼吸は空気中の酸素を肺で取り入れるから
 3. 一生を陸上で過ごす、乾燥を防ぐために皮膚を常に水で濡らす必要があるから
 4. 幼生は陸上で生活し、成体は水中で生活ようになるから
- 問3 イネやスズメノカタビラのように、子葉が1枚である単子葉類の植物に見られる、細長い葉の中に複数の筋が先端に向かって並んで走っている葉脈の名称を答えなさい。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 主脈
 2. 網状脈
 3. 平行脈
 4. 側脈
- 問4 外界の温度が10℃の環境と30℃の環境において、ある動物の体温を測定したところ、どちらの環境でも体温はほぼ38℃で変化していませんでした。このような体温の変化が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 愛知県公立入試 類似)
1. 外界の温度変化に合わせて、体内の血液の温度を常に周囲と同じ温度に変化させているため。
 2. 体内でつくられる熱の量や体表から逃げる熱の量を調節し、体温を一定に保つ仕組みがあるため。
 3. 肺呼吸を行うすべての脊椎動物は、周囲の温度に関わらず体温を変化させない能力を持っているため。
 4. 外界の温度が低いときには呼吸を止め、高いときには水分を吸収して体温を維持しているため。
- 問5 被子植物の花のつくりにおいて、めしべの根元にある膨らんだ部分の名称と、その部分が受粉したあとに成長して変化するものの組み合わせとして正しいものはどれか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 名称：子房、変化後の姿：種子
 2. 名称：胚珠、変化後の姿：果実
 3. 名称：胚珠、変化後の姿：種子
 4. 名称：子房、変化後の姿：果実
- 問6 イヌワラビのように、種子をつくらずに胞子でなかまをふやす植物のうち、体内に水や養分の通り道である維管束を持つ植物の分類群を何といいますか。 (2015年 神奈川県公立入試 類似)
1. シダ植物
 2. 被子植物
 3. 裸子植物
 4. コケ植物
- 問7 ツツジの花のつくりを詳しく調べるため、ピンセットを使って、花の最も外側にあるパーツから順番に1つずつ取り外していく実験を行いました。このとき、3番目に取り外されることになるパーツの名称と、その観察される特徴の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. がく：小さな葉のような形をしており、複数が集まっている。
 2. おしべ：1つの花の中に多数存在している。
 3. 花弁：複数のパーツが根元で合わさっている。
 4. めしべ：中心部に1本だけ長く伸びている。
- 問8 植物の葉の裏側にワセリンを塗る実験を行ったところ、何も塗っていないときと比べて吸水量が著しく減少した。この結果から導き出される考察として最も適切なものはどれか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 茎の中にある道管が葉の裏側にのみつながっているため、裏側をふさぐと吸水が止まる。
 2. 蒸散は主に葉の裏側にある気孔で行われており、蒸散が抑えられると吸水量も減少する。
 3. 葉の表側には気孔が全く存在しないため、表側にワセリンを塗っても吸水量は変化しない。
 4. ワセリンは水を吸収する性質があるため、葉の裏側から水が吸収されなくなった。
- 問9 アブラナなどの花のつくりを詳しく観察するために、ピンセットを使って各部位を「外側」から順番に取り外して台紙に並べることとしました。このとき、3番目に取り外される部位として適切なものはどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. がく
 2. おしべ
 3. めしべ
 4. 花弁
- 問10 種子を湿らせたろ紙の上に置いたものと、種子を完全に水の中に沈めて空気に触れないようにしたものの2つの環境を用意し、どちらも25℃の部屋に置きました。その結果、湿らせたろ紙の上の種子だけが発芽しました。この実験の結果から判断できる、種子が発芽するために必要な条件を答えなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 空気（酸素）
 2. 肥料
 3. 土
 4. 日光（光）
- 問11 ある植物の根を観察したところ、中心に太い根があり、そこから細い根が複数枝分かれしていました。また、この植物の雌しべを観察すると、将来種子になる部分が子房に包まれていました。この植物の分類と特徴についての説明として正しいものはどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 単子葉類に分類され、根のつくりはひげ根からなる。
 2. 単子葉類に分類され、根のつくりは主根と側根からなる。
 3. 双子葉類に分類され、根のつくりは主根と側根からなる。
 4. 双子葉類に分類され、根のつくりはひげ根からなる。
- 問12 トウモロコシのように、種子が発芽したときに最初に現れる子葉が1枚で、葉脈が平行に並んでいる植物の仲間を何といいますか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 単子葉類
 2. 合弁花類
 3. 双子葉類
 4. 裸子植物
- 問13 「日光が当たっているときに、ネギの葉が気体の成分を変化させるか」を調べる実験を計画しました。まず、日光が当たる場所にネギの葉を入れた試験管を準備しました。このとき、変化が「日光による影響」ではなく、確実に「ネギの葉の働きによるもの」であると証明するために同時に準備すべき試験管の条件として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 福岡県公立入試 類似)
1. 日光が当たる場所に、何も入れない試験管を置く
 2. 日光が当たる場所に、ネギの葉と十分な量の水を入れた試験管を置く
 3. 日光が当たらない暗い場所に、ネギの葉を入れた試験管を置く
 4. 日光が当たらない暗い場所に、何も入れない試験管を置く
- 問14 手に持って自由に動かすことができる小さな植物の枝を、ルーペを用いて観察する手順として最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 植物の枝を固定し、ルーペを目のすぐ近くから前後に動かしてピントを合わせる。
 2. ルーペを植物の枝のすぐ近くに固定し、自分の目を前後に動かしてピントを合わせる。
 3. ルーペを目のすぐ近くに固定して持ち、植物の枝を前後に動かしてピントを合わせる。
 4. ルーペを観察物から20cmほど離れた位置で持ち、植物の枝を左右に動かしてピントを合わせる。